

## 第141回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/> )

平成29年3月

日時: 2017年3月24日(金) 18:00-19:30

場所: 神奈川大学 1号館 301号室

◆主催: 防災塾・だるま 司会: 小原 茂 記録: 中島光明

◆談義の会参加者: 会員16名 一般0名 計16名(敬称略)



小原さん(司会)

話題: 『神戸から学ぶ 災害から22年目』

～神戸市1.17追悼のつどい2017 参加報告～

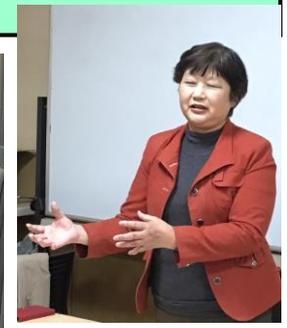
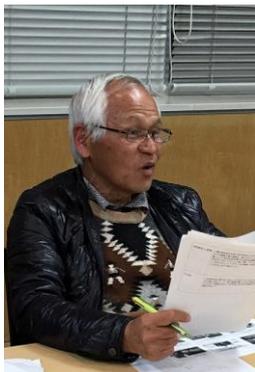
参加者: 池田邦昭、石塚道義、稲垣博正、上原美都雄、植山利昭、片山 晋、田中 晃、田中喜世美、早川雅子、柳瀬雄三 (以上10名敬称略・下線は報告者)

●日程: 2017年1月16日(月)～1月17日(火)

●行程: ①被災の記憶を巡る(東公園、防災公園、港の遺構)→②神戸市・防災展示室→③近藤豊宣氏の講演→④懇親会(近藤さん・松山さん参加)→⑤1.17慰霊式典→⑥人と未来センター→⑦個別訪問(長田区役所、西宮地滑り資料館、岐阜根尾谷地震断層博物館、阪神淡路大震災22年メモリアル集会)

### <印象に残ったこと>

- ①②: 公園防災トイレは場所不明、波止場の遺構は凄まじい、神戸市役所展示室は形骸化している。
- ③: 近藤豊宣氏(元市立鷹取中学校長)から聞いた避難所運営の苦労話(感動の嵐で涙があふれた)。被災地には「避難所運営の大きな教訓」が顕現化している。
- ④: 慰霊式典に訪れた多くの人の静かに祈りをささげる姿に感動した。22年目「1.17慰霊式典」は参加者が減少している、マスコミの取材活動は続いていた。
- ⑥: 人と防災未来センターの「1.17震災映像」は、迫力があり必見。
- ⑦: 長田地区火災における「初期消火活動の実態と焼け止まり要因」を学ぶことができた。大震災時に発生した地滑りによる大惨事(仁川百合野町地滑り資料館)。



報告者左から: 池田さん、稲垣さん、片山さん、田中さん、早川さん、柳瀬さん

### <感想>

- ・何もなかった様に見えた神戸の街、人の心の傷はまだ癒えていない。
- ・震災で命を落とさないための教訓を次の世代に語り継ぐことの大切さ。
- ・長田区役所語り部の意識、防災公園の実態など22年の風化が感じられた
- ・激甚災害の経験を風化させずに伝えていくことの困難さ
- ・未来の子どもたちへ語り継ぐことの大切さを再認識
- ・近藤先生の横浜への招聘を是非実現したい
- ・教育の現状は、「心の教育」「人間教育」を置き去りにしていることを痛感(近藤先生の話から)
- ・大震災時の長田地区火災の本質をとらえることができた

●参加者全員の報告書は、後日「だるまHP」に掲載します(項目: だるま事業一活動参加・見学)。